

令和4年度 年間授業計画

田無工業高等学校

教科・科目	工業 工業技術基礎		単位数	3
対象学年・組	1学年建築科	教科担任	AA:田口・深澤・石阪・藤森・石上・櫻井・土田 AB:小林・田口・米原・藤森・石上・櫻井・土田	
教科書	工業技術基礎			
副教材	新版 建築実習1・2			

教科 工業 の目的:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
工業の各分野について体系的・系統的に理解すると共に、関連する技術を身に付けるようにする。	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 工業技術基礎 の目的:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえ理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ教動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時数
				○	○	○	
1 学 期	<p>【知識及び技能】 木工・測量・造形とそれぞれで使用する道具について理解を深める。それに合わせて使い方を学び、基本的な作業の中で実際に工具を使っていく。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基礎的な工具の使い方、作り方の手順を理解する。その上で、作業の段取りや組み立て方の手順を早く進められるようにしていく。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで作業を行おうとする気持ちを育て、困っている生徒を助けるなど、共助の気持ちを育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 木工 墨付け、のこぎり、のみの使い方 造形 建築模型の作成 測量 レベルを用いた高さの測り方 	<p>【知識・技能】 実際に工具を使用し、正しい使い方ができているのか。</p> <p>【思考・判断・表現】 正しい手順での作品の組立、自分なりに応用して作業を進めることができているのか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分なりに工夫をして作業を進めているのか。また困った友人を助けている。</p>	○	○	○	12
	定期考査						0
	<p>【知識及び技能】 木工・測量・造形とそれぞれで使用する道具について理解を深める。それに合わせて使い方を学び、基本的な作業の中で実際に工具を使っていく。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基礎的な工具の使い方、作り方の手順を理解する。その上で、作業の段取りや組み立て方の手順を早く進められるようにしていく。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで作業を行おうとする気持ちを育て、困っている生徒を助けるなど、共助の気持ちを育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 木工 墨付け、のこぎり、のみの使い方 造形 建築模型の作成 測量 レベルを用いた高さの測り方 	<p>【知識・技能】 実際に工具を使用し、正しい使い方ができているのか。</p> <p>【思考・判断・表現】 正しい手順での作品の組立、自分なりに応用して作業を進めることができているのか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分なりに工夫をして作業を進めているのか。また困った友人を助けている。</p>	○	○	○	15
	定期考査						0

	<p>【知識及び技能】 木工・測量・造形それぞれで学んだ基礎的な作業を元に、応用した作品を作成することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 工具の使い方、作り方の手順を理解した上で、応用して作品を作成していく事ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 チームで作業を行うため、互いに役割を決めて作業を行う。助け合いながら作業を進めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木工 ベンチの作成 ・造形 JW-CADを使用した図面の作成 ・測量 セオドライトを用いた角度の測り方 	<p>【知識・技能】 実際に工具を使用し、正しい使い方ができているのか。</p> <p>【思考・判断・表現】 正しい手順での作品の組立、自分なりに応用して作業を進めることができているのか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分なりに工夫をして作業を進めているのか。また困った友人を助けている。</p>	○	○	○	15
2 学期	定期考査						0
	<p>【知識及び技能】 木工・測量・造形それぞれで学んだ基礎的な作業を元に、応用した作品を作成することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 工具の使い方、作り方の手順を理解した上で、応用して作品を作成していく事ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 チームで作業を行うため、互いに役割を決めて作業を行う。助け合いながら作業を進めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木工 ベンチの作成 ・造形 JW-CADを使用した図面の作成 ・測量 セオドライトを用いた角度の測り方 	<p>【知識・技能】 実際に工具を使用し、正しい使い方ができているのか。</p> <p>【思考・判断・表現】 正しい手順での作品の組立、自分なりに応用して作業を進めることができているのか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分なりに工夫をして作業を進めているのか。また困った友人を助けている。</p>	○	○	○	30
	定期考査						0
3 学期	I 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 					21
	定期考査						93
							合計